

第8回 貝塚市立義務教育学校開校準備委員会 議事要旨

- 日 時 令和5年4月24日(月) 19時～19時50分
- 場 所 二色小学校 ランチルーム
- 出席者 宮瀧委員(会長)、成川委員(副会長)、八野委員、三野委員、出合委員、下村委員、佐藤委員、浅井委員、貴志委員、檜崎委員、秦委員、その他事務局職員

■ 会議概要

1. 議 事

(1) 委員会の年間スケジュールについて

- 事務局から、委員会の年間スケジュールについて説明しました。

【説明内容】

4月 第8回開校準備委員会の開催

【議事】

- ・年間スケジュールについて
- ・PTA組織について

5月 五中校区教職員対象コミュニティ・スクール説明会の実施

6月 第9回開校準備委員会の開催

【議事予定】

- ・開校準備委員会委員を対象としたコミュニティ・スクールについての説明
- ・学校行事等について

7月 二色小学校 校舎等改修工事 開始

8月 コミュニティ・スクールの導入に向けた委員会の設置

9月 第10回開校準備委員会の開催

【議事予定】

- ・校歌について
- ・閉校式・開校式について
- ・保護者対象学校説明会について

10月 保護者対象学校説明会の実施

11月 第11回開校準備委員会の開催

【議事予定】

- ・その他、必要な事項に関する検討、意見交換

1月 第12回開校準備委員会の開催

【議事予定】

- ・その他、必要な事項に関する検討、意見交換

- 委員会の年間スケジュールについて、委員から次のような意見がありました。

【委員からの質問と事務局からの回答】

Q1 コミュニティ・スクールとはどのような学校ですか？

A1 コミュニティ・スクールとは、『学校運営協議会』を設置した学校です。『学校運営協議会』では、学校と保護者、地域みなさんが知恵を出し合い、学校運営

に意見を反映させることにより、「地域とともにある学校づくり」をめざします。

Q2 今ある『学校協議会』と『学校運営協議会』のちがいは何ですか？

A2 『学校協議会』は「校長の求めに応じて、学校運営に対し、個人として意見を述べるができる」制度で、校長のアドバイザー的な役割が期待されています。一方『学校運営協議会』は、「学校の基本方針を承認したり、校長の求めの有無にかかわらず、学校運営に対して意見を述べたりできる」制度で、一定の責任と権限を有する合議制の機関です。

Q3 閉校式・開校式について話し合う時期が9月となっていますが、遅くないですか。

A3 すでに義務教育学校を設置している他市町の閉校式・開校式の内容を確認し、9月に教育委員会と学校で考えた案をお示しする予定です。そこでご意見等があれば11月に再調整し、決定したいと考えています。

(2) PTA 組織について

○ 事務局から、府下9つの義務教育学校のPTA組織について情報提供しました。

【提供した情報】

- ・すべての学校でPTAが組織されている。
- ・すべての学校のPTAが、市町のPTA協議会に参加している。
- ・施設分離型の東大阪市のみ、前期課程・後期課程それぞれでPTAを組織しているが、その他の学校は、すべて一つの組織でPTAを運営している。
- ・小学校・中学校それぞれで組織していたPTAを統合し、一つの組織としたことで、役員の人数を削減することができた。また、業務のスリム化も図ることができた。
- ・一つの組織となったことで、後期課程の保護者の参加率が上昇した。
- ・一つの組織でPTAは運営しているが、前期課程と後期課程で役割分担し、各役員にかかる負担を軽減している。

(例) 入学式の挨拶は前期課程の役員が行い、卒業式の挨拶は後期課程の役員が行う。

- ・ICTを活用し、PTAの案内等をデータ送信するなど、業務の効率化を図っている。
- ・学校運営協議会との連携を図るため、PTAの役員が学校運営協議会の委員になっている。
- ・PTAは任意の団体であることをホームページやチラシを通じて周知している。
- ・PTAに加入していない世帯の児童生徒にも、卒業式にPTAから祝い品等を贈呈している。

○ PTA組織について、委員から次のような意見がありました。

【委員からの意見】

- ・共働き世帯が増えている中、PTAの活動内容が、今の時代にそぐわないものになっているのではないか？
- ・五中のPTA役員で、義務教育学校が開校したあとのPTA組織について意見を出し合った。役員会や実行委員会は設けるが、行事の際には全保護者からボランティアを

募り、役員や実行委員など、一部の保護者に負担が偏らない形にしていきたい。
そのために、今年度から一部の行事等でこの形を試行し、保護者が集まるか、運営がうまくいくか確認したい。

- ・新しいPTAについては、多くの人の意見を聞きながら組織づくりをしていく。
- ・子どもたちのためになる活動を意識して、活動内容を見直していく必要がある。
- ・一部の保護者が負担を負うのではなく、すべての保護者が、何らかの行事に必ず1回は参加するようにしてはどうか？

⇒ PTAは任意団体なので、参加を強制すると、加入者が減る可能性があるのではないか。

- ・保護者の協力が必要な行事等のスケジュールを早めに周知することにより、協力者が増えるのではないか。
- ・運動会や体育大会、参観、清掃活動等への参加率は非常に高く、学校への関心は高いと思う。「子どもたちのために何かできることはないか」という保護者の思いを大切にしながら、「大変だったけど参加してよかった」と思ってもらえるPTA活動にしていきたい。

(3) その他

- 次回会議は令和5年6月19日(月)19時からに決定しました。